



- S33 春日町創設 33環第1467号
地下水 2,016 m³/日
目標年度 昭和46年度
計画給水人口 11,200 人
計画1日最大給水量 2,016 m³
- S35 春日町創設変更(1) 35環第476号
地下水を牛頭川(表流水)に変更
目標年度 昭和46年度
計画給水人口 11,200 人
計画1日最大給水量 2,016 m³
- S36 原町浄水場 稼働
- S38 春日町第1次拡張 38環第466号
牛頭川 3,000 m³/日
目標年度 昭和43年度 計画給水人口 16,600 人
計画1日最大給水量 3,000 m³
- S39 春日町第2次拡張 厚生省収環第603号
那珂川町内(松尾)に浅井戸2井
(松尾1,2号井 2,500 m³/日×2)計画
目標年度 昭和50年度 計画給水人口 32,000 人
計画1日最大給水量 8,000 m³
- S42 春日町第2次拡張変更(1) 42環第99号
松尾を那珂川町内(東隈)に変更
(東隈1,2号井 2,500 m³/日×2)実施
目標年度 昭和50年度 計画給水人口 32,000 人
計画1日最大給水量 8,000 m³
- S43 東隈浄水場 稼働
- S45 春日町第2次拡張変更(2) 厚生省環第532号
原町浄水場の緩速ろ過池を急速ろ過池に変更
目標年度 昭和50年度 計画給水人口 32,000 人
計画1日最大給水量 8,000 m³
- S46 春日町第3次拡張(1) 厚生省環第320号
東隈浄水場に浅井戸5井(東隈3~7号井 2,000 m³/日×5)
目標年度 昭和53年度 計画給水人口 60,000 人
計画1日最大給水量 18,000 m³
- S51 春日市第3次拡張(2) 厚生省環第63号
東隈浄水場急速ろ過を地増設
原町浄水場薬品沈でん池を改良
目標年度 昭和53年度 計画給水人口 60,000 人
計画1日最大給水量 18,000 m³
- S52 春日市第4次拡張 厚生省環第10号
大牟田池(表流水) 2,000 m³/日
東隈浄水場に浅井戸1井(東隈8号井 1,000 m³/日)計画
那珂川町内(後野)に浅井戸2井
(後野1,2号井 1,250 m³/日×2)計画
福岡地区水道企業団受水 4,700 m³/日
目標年度 昭和55年度 計画給水人口 76,000 人
計画1日最大給水量 28,200 m³
- S52 春日那珂川水道企業団 設立
- S53 企業団創設 厚生省環第794号
福岡地区水道企業団受水 900 m³/日 増量
(那珂川町分)
目標年度 昭和56年度 計画給水人口 76,300 人
計画1日最大給水量 29,100 m³
- S56 企業団第1次拡張 厚生省環第415号
(東隈8号井 1,000 m³/日)
(後野1,2号井 1,250 m³/日×2)計画廃止
那珂川町内(井尻)に浅井戸2井
(井尻1号井2,000 m³/日、井尻2号井1,500 m³/日)
那珂川表流水 7,500 m³/日
目標年度 昭和59年度 計画給水人口 89,000 人
計画1日最大給水量 36,600 m³

- S58 企業団第2次拡張 厚生省環第501号
井尻1,2号井を各500 m³/日 増量
那珂川町内(山田)に浅井戸2井(山田1,2号 2,500 m³/日×2)
福岡地区水道企業団受水 1,000 m³/日 増量
目標年度 昭和63年度 計画給水人口 118,500 人
計画1日最大給水量 43,600 m³
- S62 企業団第3次拡張 厚生省生衛第387号
那珂川町内(安徳)に浅井戸2井(安徳1,2号井 2,000 m³/日×2)
目標年度 平成4年度 計画給水人口 125,400 人
計画1日最大給水量 47,600 m³
- H 3 企業団第4次拡張 厚生省衛第23号
東隈浄水場に浅井戸2井(東隈8,9号井 2,500 m³/日×2)
那珂川町内(埋金)に浅井戸2井(埋金1,2号井 2,500 m³/日×2)
埋金浄水場建設
目標年度 平成12年度 計画給水人口 152,900 人
計画1日最大給水量 57,600 m³
- H 9 埋金浄水場 稼働
- H13 企業団第5次拡張 厚生労働省発健第0327016号
原町浄水場に粒状活性炭処理を導入
福岡地区水道企業団受水 5,375 m³/日 増量
後野配水池築造
目標年度 平成22年度 計画給水人口 162,800 人
計画1日最大給水量 57,600 m³
- H17 企業団第5次拡張変更(1) 厚生労働省発健第0331043号
原町浄水場の浄水方法を粒状活性炭+膜ろ過方式に変更(全面更新)
目標年度 平成22年度 計画給水人口 162,800 人
計画1日最大給水量 57,600 m³
- H22 原町浄水場更新
- H26 企業団第5次拡張変更(2) 厚生労働省発健0328第15号
東隈浄水場の浄水方法を膜ろ過方式に変更(全面更新)
浅井戸(東隈3号井 2,000 m³/日)(井尻1号井 1,750 m³/日)
(安徳1,2号井 2,000 m³/日×2)を目標年次までに廃止
目標年度 平成32年度 計画給水人口 152,100 人
計画1日最大給水量 42,000 m³
- H28 企業団5次拡張変更(3) 28水資第835号
那珂川表流水11,050 m³/日(福岡市から暫定融通)
福岡地区水道企業団受水4,000 m³/日(融通による増量)
井尻川表流水 2,500 m³/日
目標年度 平成32年度 計画給水人口 152,100 人
計画1日最大給水量 42,000 m³
- H28 企業団5次拡張変更届出(4)
目標年度、計画給水人口、1日最大給水量の見直し
目標年度 平成31年度
計画給水人口 154,700 人(届出値)
計画1日最大給水量 41,800 m³(届出値)
- H29 東隈浄水場 更新
- H30 企業団第6次 29水資第1628号
下代久事川表流水(市ノ瀬トンネル湧水) 2,910 m³/日
目標年度 平成31年度 計画給水人口 154,700 人
計画1日最大給水量 41,800 m³
- H31 企業団第6次変更(1) 厚生労働省発生食0329第15号
城の谷川表流水(上梶原トンネル湧水) 2,930 m³/日
白水大池湖沼水 1,500 m³/日
井尻川表流水(西畑川) 6,000 m³/日
猿山川表流水 3,500 m³/日
目標年度 平成31年度 計画給水人口 154,700 人
計画1日最大給水量 41,800 m³
- R02 企業団第6次変更届出(2)
目標年度、計画給水人口、1日最大給水量の見直し
目標年度 令和11年度 計画給水人口 155,300 人
計画1日最大給水量 42,700 m³



【後野配水池】



【春日水源】



【春日貯水池】

かすが なかがわの水



【防災訓練の様子】



【給水車】



【五ヶ山ダム】



【膜ろ過設備】



【水管橋】



【うお~たん】



【東隈浄水場】
施設能力：22,000m³/日
処理方式：粉末活性炭+膜ろ過方式



【原町浄水場】
施設能力：3,375m³/日
処理方式：上向流活性炭+膜ろ過方式



福岡地区水道企業団は、筑後川の水や海水を水道水にしたものを福岡都市圏の自治体に供給する水道用水供給事業者（水の卸売業者）です。



＜ 筑後川からの大きな恵み ＞
福岡都市圏では、大きな河川等の水源がなく、水不足で苦労してきました。そこで、筑後川の水を筑後大堰から取水し、福岡導水（全長約25km）を使って、福岡地区水道企業団牛頭浄水場（大野城市）まで送っています。送られてきた水は、浄水処理後、水道用水として福岡都市圏の構成団体（6市7町1企業団1事務組合）に送られます。
春日那珂川水道企業団でも西浦配水池および後野配水池で1日最大11,975 m³/日の水を受け取っています。



【埋金浄水場】
施設能力：7,000m³/日
処理方式：急速ろ過方式

＜ 企業団の概要 ＞

春日那珂川水道企業団は、春日市および那珂川市を構成団体とする一部事務組合で、水道事業を共同で行っており、3つの浄水場から春日市および那珂川市の住民約15万人へ、1日平均約37,000m³を給水しています。
企業団は、4課7係1出張所で構成されており、企業長および副企業長は、構成団体の長である春日市及び那珂川市長が互選により就任します。また、参与は、企業長および副企業長に助言を行う者として、両市の副市長のうちから企業長が選任します。職員数は、事務職27名、技術職18名、会計年度任用職員3名の計48名で、平均年齢は47.8歳です。

＜ 議会 ＞

企業団議会の議員は定数10名で、春日市および那珂川市の議会の議員から、それぞれ5名ずつ選出されます。主に、2月と10月に定例会が開催されます。

＜ 監査 ＞

監査委員は2名で、企業長が議会の同意を得て選任します。監査委員は、企業団事務の執行について、定期監査・決算審査と毎月の出納検査を行っています。

＜ 企業団設立 ＞

春日市では、昭和36年12月から給水を開始していましたが、隣接する福岡市のベッドタウンとして人口の増加が著しく、常に水資源開発の必要に迫られていました。
一方、那珂川市には水道事業がなく、春日市と同様に都市化が進む中、住民から水道事業に積極的に参加すべきであるという強い要望が広がっていました。
このような状況から、水道水源の共同開発等を目的として、昭和52年10月、春日那珂川水道企業団が設立されました。

＜ 水源と配水池 ＞

水源	許可(協定)水量(m ³)	浄水場	施設能力(m ³ /日)	配水池	容量(m ³)
春日貯水池 大牟田池	3,375	原町浄水場	3,375	原町配水池	2,500
那珂川 井尻川 西畑川 城ノ谷川 白水大池 地下水	7,500 2,500 6,000 2,930 1,500 1,950	東隈浄水場	22,000	炭焼第1配水池 炭焼第2配水池 後野配水池 西浦配水池 星見ヶ丘配水池	3,000 2,500 4,000 3,000 468
下代久事川 猿山川	2,910 3,500	埋金浄水場	7,000	埋金配水池	4,000
受水	11,975	(福岡地区水道企業団)			

◆ 一部事務組合

地方自治法に基づき、複数の地方公共団体が、事務の一部を共同で行うことを目的として設置する組織を「一部事務組合」といいます。

◆ 企業団

一部事務組合のうち、地方公営企業の経営に関する事務を共同で行うものを「企業団」といいます。

◆ 地方公営企業

地方公共団体が経営する公益的な企業を地方公営企業といいます。地方公営企業法では、水道、工業用水道、軌道、自動車運送、鉄道、電気、ガスの7つの事業が適用されます。

